

◎火災・災害の怖さを知って、防災意識を高めよう

～消防署立ち合いの避難訓練～

～保育所・小中学校合同引き渡し訓練～

1・目的

- ・いつ災害が起こっても起きてもおかしくない状況下の中で、子どもたちや保護者の皆様に防災意識を高めてもらう。
- ・保育所が災害時に警戒区域に建っている事から、非常時は小中学校に避難する事となります。安全かつ確実に保護者の皆様へお子様をお引渡しする為に訓練を行いました。



2・内容

地震火災が発生した想定で、避難訓練を行いました。その様子を消防署の方々に見て、たくさん褒めて頂き自信が付きました。その後、水消火器で火を消す練習をしました。消防車と救急車の中を見学し、実際に乗車をさせて頂きました。「これはなんですか？」と子ども達も興味深そうに質問し、貴重な体験が出来ました。「大きくなったら消防士さんになりたい」という子もあり、子ども達の心に残る一日となりました。

保育所・小中学校合同の引き渡し訓練は、あらかじめ【緊急引き渡しカード】を保護者の方々に記入して頂き、小中学校の兄弟を把握しました。実際に災害が起きた際に、事故・渋滞が起きないよう保育所と小中学校の職員で何度も話し合い、引き渡しルートの確認を行い、実施しました。

3・成果と課題

本やトミカで見ただけだった消防車や救急車を実際に見たり乗ったりする機会を持つ事が出来ました。消防士さんにもたくさん褒めて頂け、私たちが思っていたよりも、子ども達が違った角度から災害や火事、地震について考えるきっかけになりました。

本所では実際に災害が起きた時の為に「防災バック」を保護者に1つずつ用意して頂いています。子ども達が食べているお菓子や、心の拠り所になりそうな玩具などを入れています。毎月持ち帰りの着替えを季節にあった物に変え、賞味期限を確認する中で、保護者の皆さんが非常時の事を考える時間になればと思います。

